

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月29日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ディーエムエス
 コード番号 9782 URL <http://www.dmsip.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 克彦
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部部长代理 (氏名) 橋本 竜毅
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-3293-2961

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	8,002	△2.9	369	72.4	346	87.1	167	118.3
24年3月期第2四半期	8,242	3.6	214	58.8	185	56.5	76	92.7

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 153百万円 (71.6%) 24年3月期第2四半期 89百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	28.75	—
24年3月期第2四半期	13.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	12,283	6,695	54.5	1,149.72
24年3月期	13,189	6,629	50.3	1,138.36

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 6,695百万円 24年3月期 6,629百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,200	1.7	860	8.2	810	10.8	453	29.6	77.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	7,262,020 株	24年3月期	7,262,020 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	1,438,567 株	24年3月期	1,438,491 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	5,823,472 株	24年3月期2Q	5,823,529 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景とした個人消費の持ち直し等により、景気は緩やかに持ち直ししている一方、欧州債務問題の長期化や中国をはじめとした新興国経済の減速などの影響により、先行き不透明な状態になってきました。

当社グループ（当社および当社の子会社）に関連する広告業界におきましては、こうした状況を反映し、顧客企業における販促企画の需要は堅調に推移し、前年に比べて回復傾向が見られる状況となりました。

このようななか当社は、引続きダイレクトメール・SP・イベントなどの事業領域において積極的な営業展開や現場の生産性向上を図るとともに、新たにウェブ・モバイル関連サービスの事業領域拡大にも努めてまいりました。また、昨年度に開発した「通販・EC出荷代行サービス」「DM送付最適化サービス」などの営業強化を併せて行ってまいりました。

この結果、当四半期連結累計期間の連結売上高は、80億2百万円（前年同期比2.9%減）となりました。連結営業利益は、主にカード発行業務や中元業務のほか新たな取り組みである通販出荷代行業務の貢献によって操業度が向上したことと、販売管理費が前年同期に比べて46百万円減少した結果、3億69百万円（同72.4%増）となりました。連結経常利益は、営業外収益が14百万円（同11.6%増）、営業外費用が36百万円（同12.0%減）となった結果、3億46百万円（同87.1%増）となりました。連結四半期純利益は、税金費用を1億12百万円としたことにより1億67百万円（同118.3%増）となりました。

セグメントの業績については次のとおりであります。

①ダイレクトメール部門

企画制作から情報処理、封入封緘を一括して手がけるトータルサービスと郵便やメール便のスケールメリットを活かした提案型営業を積極的に展開した結果、売上高は、71億51百万円（同5.1%減）と震災により延期されていた販促活動の再開需要を取り込めた前年同期に対して僅かに届かなかったものの、セグメント利益は操業度の向上によって5億29百万円（同12.3%増）となりました。

②セールスプロモーション部門

各種販促支援および企画制作業務の新規受注に努めた結果、売上高は5億33百万円（同0.4%減）となりました。一方、セグメント利益は盛況に推移した一部の会員獲得プロモーションや飲料系販促プロモーションなどによってキャンペーン業務の操業度を高めたことなどにより77百万円（同78.2%増）となりました。

③イベント部門

販売促進・スポーツイベントなどの運営・警備業務に注力した結果、売上高は2億77百万円（同92.1%増）、セグメント利益は14百万円（前年同期セグメント損失2百万円）となりました。

④貸貸部門

千代田小川町クロススタビル（東京都千代田区）等の売上高は29百万円（104.2%増）、セグメント利益は1百万円（前年同期セグメント損失14百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産の状況

当四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて主に現金及び預金が2億53百万円、仕掛品が2億円増加しましたが、売上債権が9億30百万円減少したことにより、全体として46億81百万円（前連結会計年度末比5億96百万円減）となりました。

当四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて主に減価償却費の計上等で有形固定資産および無形固定資産が1億39百万円減少したことに加え、投資有価証券の評価減等による54百万円減少や保険資産1億15百万円が減少したことにより、全体として75億88百万円（同3億7百万円減）となりました。

当四半期連結会計期間末の繰延資産は、社債発行費が13百万円（同1百万円減）となりました。

その結果、資産合計では、122億83百万円（同9億5百万円減）となりました。

②負債の状況

当四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて主に仕入債務が3億61百万円、未払金が1億53百万円、未払法人税等が1億52百万円それぞれ減少したことにより、全体として27億42百万円（同7億35百万円減）となりました。

当四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて主に社債が45百万円、長期借入金が1億67百

万円減少したことにより、全体として28億45百万円（同2億36百万円減）となりました。

その結果、負債合計では55億88百万円（同9億71百万円減）となりました。

③純資産の状況

当四半期連結会計期間末の純資産は、主に利益剰余金では連結四半期純利益1億67百万円から配当87百万円を差し引いた80百万円が前連結会計年度末に比べて増加となりました。一方で株式市場等の下落を受けてその他有価証券評価差額金が13百万円減少（税効果分は除く）したことにより、全体として66億95百万円（同66百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年10月29日発表の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更
(減価償却方法の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,600,661	1,854,582
受取手形及び売掛金	2,917,092	1,986,785
仕掛品	220,109	420,948
立替郵送料	158,171	72,636
繰延税金資産	118,181	101,014
その他	264,117	248,540
貸倒引当金	△326	△2,703
流動資産合計	5,278,007	4,681,804
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,946,903	2,867,193
機械装置及び運搬具(純額)	278,632	231,167
土地	2,830,100	2,830,100
リース資産(純額)	67,072	63,316
その他(純額)	63,697	56,709
有形固定資産合計	6,186,406	6,048,486
無形固定資産		
投資その他の資産	45,745	44,401
投資有価証券	421,353	367,040
投資不動産(純額)	1,003,526	986,145
繰延税金資産	—	6,669
その他	250,316	138,583
貸倒引当金	△11,069	△3,000
投資その他の資産合計	1,664,125	1,495,438
固定資産合計	7,896,278	7,588,327
繰延資産		
社債発行費	15,405	13,842
繰延資産合計	15,405	13,842
資産合計	13,189,691	12,283,974

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,774,857	1,413,093
1年内償還予定の社債	90,150	90,150
短期借入金	525,656	505,656
リース債務	19,066	18,907
未払法人税等	265,219	112,854
賞与引当金	211,520	217,357
その他	591,255	384,693
流動負債合計	3,477,726	2,742,713
固定負債		
社債	612,700	567,625
長期借入金	1,897,702	1,729,873
リース債務	64,993	60,466
退職給付引当金	351,878	352,573
役員退職慰労引当金	68,690	53,091
繰延税金負債	9,624	5,143
再評価に係る繰延税金負債	21,332	21,332
その他	55,761	55,761
固定負債合計	3,082,682	2,845,867
負債合計	6,560,408	5,588,580
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,092,601	1,092,601
資本剰余金	1,468,215	1,468,215
利益剰余金	5,449,769	5,529,849
自己株式	△582,552	△582,582
株主資本合計	7,428,032	7,508,083
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,643	4,703
土地再評価差額金	△817,392	△817,392
その他の包括利益累計額合計	△798,749	△812,689
純資産合計	6,629,283	6,695,394
負債純資産合計	13,189,691	12,283,974

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	8,242,602	8,002,887
売上原価	7,380,484	7,032,559
売上総利益	862,118	970,327
販売費及び一般管理費	647,880	600,999
営業利益	214,238	369,327
営業外収益		
受取利息	234	180
受取配当金	6,325	6,603
雑収入	6,202	7,456
営業外収益合計	12,762	14,240
営業外費用		
支払利息	40,053	34,978
その他	1,529	1,625
営業外費用合計	41,583	36,604
経常利益	185,417	346,964
特別利益		
賃貸借契約解約益	—	4,821
特別利益合計	—	4,821
特別損失		
固定資産除却損	1,557	1,402
投資有価証券評価損	41,810	32,654
社葬費用	—	28,038
受取保険金損失	—	9,742
特別損失合計	43,367	71,838
税金等調整前四半期純利益	142,049	279,947
法人税、住民税及び事業税	3,870	98,778
法人税等調整額	61,484	13,735
法人税等合計	65,355	112,513
四半期純利益	76,694	167,433

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
四半期純利益	76,694	167,433
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	12,749	△13,939
その他の包括利益合計	12,749	△13,939
四半期包括利益	89,444	153,494
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	89,444	153,494

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	142,049	279,947
減価償却費	216,888	201,640
社債発行費償却	1,563	1,563
退職給付引当金の増減額(△は減少)	6,467	695
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,552	△15,599
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,429	5,837
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△147	△5,693
受取利息及び受取配当金	△6,559	△6,783
支払利息	40,053	34,978
有形固定資産除却損	1,557	1,402
投資有価証券評価損益(△は益)	41,810	32,654
受取保険金損失	—	9,742
売上債権の増減額(△は増加)	343,853	930,307
たな卸資産の増減額(△は増加)	△163,718	△200,839
立替郵送料の増減額(△は増加)	4,367	85,534
その他の流動資産の増減額(△は増加)	28,480	△5,405
その他の固定資産の増減額(△は増加)	787	△6,079
仕入債務の増減額(△は減少)	△28,570	△361,764
その他の流動負債の増減額(△は減少)	177,205	△92,935
その他	33,414	6,908
小計	843,483	896,111
利息及び配当金の受取額	6,559	6,783
利息の支払額	△39,877	△34,868
保険金の受取額	—	100,000
法人税等の支払額	△14,868	△250,385
営業活動によるキャッシュ・フロー	795,297	717,641
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△911	△900
有形固定資産の取得による支出	△73,822	△128,867
投資有価証券の取得による支出	—	△9,788
貸付金の回収による収入	1,260	3,943
差入保証金の回収による収入	118	—
その他	△8,555	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△81,911	△135,613

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△5,799	△9,256
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△20,000	△20,000
長期借入金の返済による支出	△167,828	△167,828
社債の償還による支出	△45,075	△45,075
自己株式の取得による支出	—	△29
配当金の支払額	△86,884	△86,817
財務活動によるキャッシュ・フロー	△325,587	△329,007
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	387,798	253,020
現金及び現金同等物の期首残高	1,080,849	1,446,011
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,468,647	1,699,032

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイレクト メール部門	セールス プロモーション 部門	イベント 部門	賃貸部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,539,764	535,327	144,698	14,580	8,234,370	8,232	8,242,602
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,150	1,217	—	60	2,428	15	2,443
計	7,540,914	536,544	144,698	14,640	8,236,798	8,248	8,245,046
セグメント利益又は損 失(△)	471,425	43,584	△2,333	△14,041	498,635	1,160	499,796

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家電製品販売を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	498,635
「その他」の区分の利益	1,160
セグメント間取引消去	△2,443
全社費用(注)	△283,114
棚卸資産の調整額	—
四半期連結損益計算書の営業利益	214,238

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイレクト メール部門	セールス プロモーション 部門	イベント 部門	賃貸部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,151,679	533,116	277,961	29,771	7,992,528	10,358	8,002,887
セグメント間の内部 売上高又は振替高	704	967	—	—	1,671	60	1,731
計	7,152,383	534,083	277,961	29,771	7,994,200	10,418	8,004,619
セグメント利益	529,281	77,666	14,614	1,745	623,307	2,891	626,199

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家電製品販売を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	623,307
「その他」の区分の利益	2,891
セグメント間取引消去	△1,731
全社費用（注）	△255,149
棚卸資産の調整額	10
四半期連結損益計算書の営業利益	369,327

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。